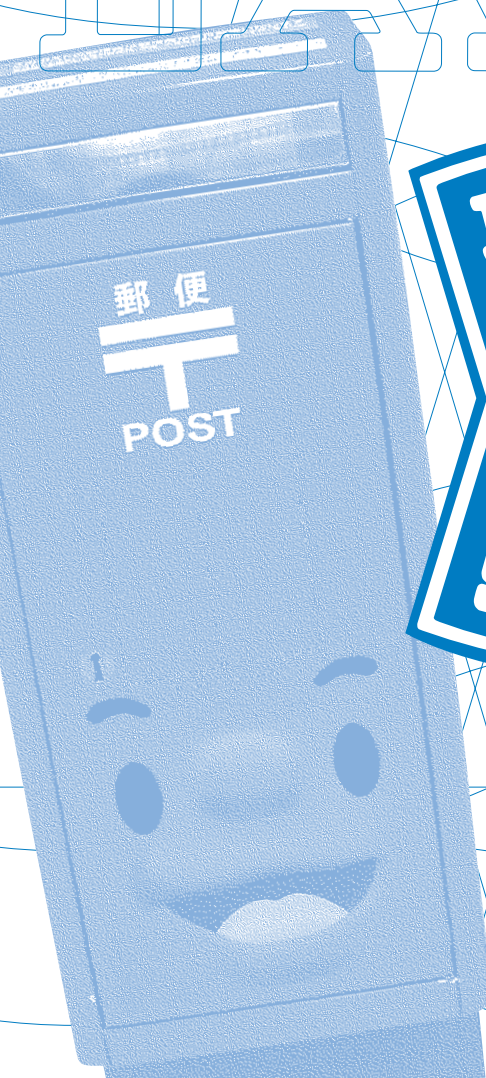


第29期 中間事業報告書
2003年3月1日～2003年8月31日

VALUE BOOK

LAWSON



マチのほっとステーション
LAWSON

証券コード：2651

ローソン チャレンジ 2004 進捗状況

ローソンは「2004年度に連結営業利益500億円、ROE 15%」という目標を達成するため、以下の7つの施策を推進しています。

1. 目標管理制度の導入

昨年度導入した目標管理制度を、執行役員、管理職に続き2003年4月から一般職へも導入し、社員の士気を高めています。

2. 負の資産の処理

直営不採算店舗の閉鎖、早期退職制度などによる人員の削減とも2002年度中に完了し、目標達成への基盤整備をいたしました。

3. 物流・商流網の最適化

各温度帯別物流網の整備を2002年度中に既に完了したうえで、最適ルートの設定により、物流コストの削減を図る体制を整備しています。

4. 現場の活性化

2003年3月から全国に支社制を導入したことにより、現場への大幅な権限委譲が可能となりました。その結果、各地域のお客さまのご要望に即した諸施策を迅速に展開する体制が確立できました。

5. 収益にこだわった出店

オーナーの皆さんと本部の収益を改善するための新出店基準を導入し、収益追求型の出店を継続していきます。

6. 資本・業務提携

日本郵政公社、営団地下鉄、地方銀行、証券会社との取り組みなど、お客さまの利便性を追求する業務提携を積極的に取り組んでいます。

7. 人材の育成

社員教育の充実を図るための「ローソン大学」、経営者視点での議論を中心とした「リーダーシッププログラム」をスタートしました。

トップ・ インタビュー

トップ就任から1年半が経過した今、
に「ローソンチャレンジ2004」の
みについて聞きました。

Q 当中間期の業績について説明してください。

A まず、当中間連結決算の概要を説明いたします。10年ぶりの記録的な冷夏や一部地域の競合激化、地域経済や景況感の改善が見られなかったことなどにより、営業総収入は前年同期比4.2%減少の1,254億7千9百万円となりました。その一方で、支社制の導入に伴う経費管理の奏功や関係会社の業績改善などにより、営業利益は前年同期比1.9%増の210億7千3百万円、経常利益は同じく7.2%増の200億1千8百万円となりました。また、中間純利益は固定資産除却損などの特別損失が127億7千8百万円減少したことなどにより、前年同期比123.4%増の101億8千2百万円となりました。

このように、当中間期の業績は減収増益となりましたが、「負の資産の処理」が順調に進み、ローソンの収益力が確実に改善していることを実感しています。単に増益だからということではなく、予想値に比べても経常利益で3.2%、中間純利益は15.7%上回ることができました。今後も着実に施策を実行することにより、より高い収益を追求していくことで、「ローソンチャレンジ2004」の目標達成に向けて邁進してまいります。

当社代表取締役社長執行役員 新浪剛 目標達成へのビジョンとその取り組み

Q 「ローソンチャレンジ2004」の進捗状況についてお聞かせください。

A 昨年から推し進めてきました「負の資産の処理」を終え、既に第二段階に入っています。昨年度は連結営業利益500億円、ROE 15%という目標を達成するために、直営不採算店舗の閉鎖や加盟店の置換え、早期退職制度などによる人員の削減、過剰資産の除却等を行いました。そのうえで、当期は攻めの経営に着手しています。「攻め」というのは、言うまでもなく「利益を向上させること」であり、オーナーの皆さんの利益向上を図ることが、当社の利益向上に繋がるわけです。そのため課題として現在最も重視していることが来店客数の増加です。

Q 課題である来店客数の増加について具体的に教えてください。

A 来店客数を増加させるためには、「3つの徹底」の継続が必要不可欠です。「3つの徹底」とは、「個店主義」、「お店とマチをきれいにする」、「心のこもった接客」を徹底することです。この「3つの徹底」を継続することを年2回のオーナーさん向けローソンセミナーや店舗訪問時に繰り返し説明することで、ローソンファン



代表取締役社長執行役員 新浪 剛

の拡大に繋げてまいります。また、主力商品群である米飯・調理パン・調理麺・惣菜等のオープンケース商品を充実させることで「オリジナル商品」の強化を図り、来店客数の増加に努めます。さらに、日本郵政公社、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(TSUTAYA)や、新日本石油株式会社(ENEOS)、金融機関などとの業務提携を通じて更なる来店客数の増加を図ります。これらの業務提携により、来店客数の増加に加え、従来の商圈、お客さま層以外の新たな方々にご来店いただくことが可能となります。

Q 主力商品群である米飯・調理パン・調理麺・惣菜等の「オリジナル商品」の強化は、どのように実践されるのですか？

A お客さまに再びご来店いただくためには、主力商品群である米飯・調理パン・調理麺・惣菜等をよりいっそう美味しくすることが欠かせません。その鍵がオリジナル商品を製造するベンダー網の再編にあります。全国に約60あった製造ベンダーを、当社と理念を共有できるメガベンダー数社に集約することにより、製造ベンダーによって差があったオリジナル商品の味や品質のバラツキをなくすることが可能となります。また、そのようなメガベンダーに最新製造機器を導入していただくことで、高品質なオリジナル商品を全国のお客さまに提供することが可能となるのです。

Q 「安全・安心」な商品づくりに注力されているようですが、具体的に教えてください。

A お客さまに「安全・安心」な商品をお届けするために、関東・近畿圏で販売するオリジナル商品の合成着色料と保存料を完全撤廃し、さらに食品添加物については業界で初めて使用総量の規制を設けました。特に女性や中高年層のお客さまは「安全・安心」に対するニーズが強く、味付けもあっさりしたものを好まれる傾向があるので、従来の購買層だけではなく女性や中高年層のお客さまにも支持される商品づくりに取り組んでいます。

また、本年5月に当社がおにぎりの製造を委託している工場において、「新潟県産コシヒカリ」に他県産のコシヒカリが一部混入する事件が発覚いたしました。当社

はお客さまに「安全・安心」を継続して提供することを第一に考え、迅速な対応にあたりました。現在も高品質維持の観点から新設した「品質管理本部」が定期的にベンダー工場の立入検査を行うことにより、製造工程を直接管理する体制を確立しています。さらに、従来外部に委託していた食材の調達についても、社内「原材料仕入部」を新設し、自社にて行うことにより、原材料自体の「安全・安心」を確保できるよう努めています。ローソンはこれからもお客さまに「安全・安心」な商品を継続して提供してまいります。

Q 株主の皆さまに一言お願いします。

A 最近、少しずつではありますが「ローソンが元気になった」と耳にするようになりました。私自身も感じていることですが、厳しい環境にあるときこそ元気でいることが大切だと思います。今、この元気を活力にしてローソンは着実に、そして確実に変わってきています。ローソンが目指すものは、「マチのほっとステーション」であり、私はそのために前述した「3つの徹底」を継続して訴えてまいります。多くのお客さまに喜んでいただくため、そして再びご来店いただけるための施策を確実に実行することで、「マチのほっとステーション」に一步步近づいています。そして「ローソンチャレンジ2004」の目標を達成することで株主の皆さまのご期待に応えてまいりたいと存じます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

情報管理体制の確立

お客さまの信頼を得ることの意味を本気で考え、
ローソンは個人情報の厳格な管理を徹底します。

当中間期におきまして、当社委託先からローソンプス会員の個人情報（信用情報を除く）が一部漏洩する事件が発生いたしました。件数にして約56万件の個人情報が漏洩し、一部の会員宛に不要なダイレクトメールが送付されるなど不快な思いをさせてしまいました。株主の皆さまには、ご心配おかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

本件に関しましては、まず正確かつ迅速に情報を開示するとともに、個人情報の取扱いに関する方針を明示する必要があると考えました。そのため、外部の専門家を中心とした調査委員会を発足させ、その原因、経緯を調査するとともに、社内に「個人情報保護委員会」を発足させ、指紋認証システムを導入するなど情報管理体制を確立しました。また、併せて、店頭で取り扱うものを含む全ての個人情報に関する全社方針を明確に定めました。

当社では、本件の重大性に鑑み、右記方針を確実に実行していくことで、二度とこのようなことが起こらないよう個人情報の厳格な管理を徹底します。

個人情報の取扱いに関する全社方針

- 1 **委託先選定基準の作成、
委託契約内容の見直し
及び定期検査の実施**
- 2 **店舗レベルでの個人情報の取扱い
及び廃棄処理の厳格化**
- 3 **懲罰的措置を含む社内規程の制定と
その厳格な運用**
- 4 **個人情報保護に関する
従業員教育の再徹底**
- 5 **個人情報に関する内部監査の実施**



お客さまとの接点をつくりだすファストフード

ローソンは、「3つの徹底」の一つである「心のこもった接客」を実践するために「からあげクン」「おでん」「中華まん」といったファストフードに力を注いでいます。それは、カウンター越しに販売するこれらの商品にこそ「接客の原点」があると考えからです。

「からあげクンがカラッと揚がりました!」「美味しいおでんはいかがですか?」クルーの皆さんの大きなかけ声が店舗を活気付けます。また、そんなちょっとした一言からお客さまとのコミュニケーションが始まるのです。ローソンは、お客さまに自信を持ってお勧めできるファストフードを提供するために、日々の努力を惜しみません。

愛され親しまれ17年 「からあげクン」がグレードアップ

1986年4月15日の登場以来、超ロングセラー商品として人気の「からあげクン」が、17周年にあたる本年4月15日に素材や製法をグレードアップして新登場しました。植物性飼料



発売当初のからあげクン

100%で育てた「ローソンベジタリアンチキン」を使用し、お客さまの安全・安心志向に配慮するとともに、鶏肉独特の臭みを排除したクセのない味を実現しました。また、よりジューシーな食感が味わえる「からあげクンスーパー」も新たに登場。さらにパッケージもリニューアルし、可愛らしいニワトリのキャラクターが目立つようなデザインに仕上げました。



からあげクン スーパー

もも肉を使用し、ジューシーで弾力のある歯ごたえを持たせ、たまり醤油と鳴門の天然海水塩による味付けで、深みとコクのある美味しさを実現しました。

からあげクン レギュラー

脂肪分が少ないあっさりした胸肉を使用し、やわらかくジューシーに仕上げました。クセのない鶏肉本来の美味しさが味わえます。



からあげクン レッド

レッドペッパーをメインに使用し、スパイシーでホットな味に仕上げました。あとひく美味しさが若いお客さまから圧倒的な支持を受けています。



からあげクン チーズ

ダイス状のチェダーチーズと衣に使用したバルメザンチーズを組み合わせ、まろやかなチーズそのものの自然な味を実現しました。



素材を活かして美味しさ向上 ローソンのおでん

おでんといえばローソン。そう言っていただけるよう、こだわりをさらに深く、美味しさも向上しました。

おでんへのこだわりは、素材に始まります。ビタミンEやα-リノレン酸を豊富に含む特別な玉子を使用した「おでん玉子」や、完熟堆肥で60日間丹精こめてつくられた「ごちそう大根」、下仁田産のこんにゃく芋を使用した「本練りこんにゃく」など、本物だけを選びすぐった贅沢な素材を使用しています。

つゆは、燻した香りの強い枕崎産鰹節、焼津産鰹節、高知産サバ節、利尻・日高産昆布、煮干、丸大豆薄口醤油といった厳選素材を使用し、素材本来の旨味を引き立たせるように仕上げました。



各地のお客さまの好みに合うよう、
地域によって特色のあるつゆを採用
しています。

北海道・東北エリア

それぞれのだしをバランスよくブレンドし、醤油をしっかり利かせた塩味と旨味がやや強めのつゆに仕上げられています。昆布だしを増量し、より地域に親しみのある味に仕上げました。

関東エリア

鰹だしを増量し濃いだしをとっています。醤油を利かせ、よりしっかりした香りと旨味を実現しました。

東海・近畿エリア

だしをふんだんに使い醤油を控えめにするこで、だしの旨味が引き立つこの地域特有のつゆにさらに近づけました。

中四国・九州エリア

煮干だしを増量し、鰹だしと昆布だしをブレンドすることで地域の味を再現。甘くまろやかな旨味があるつゆに仕上げました。

品揃えも美味しさも増量中 ローソンの中華まん

ローソンでしか味わえない商品を。ローソンは、中華まんの品揃えを広げ、バラエティに富んだ商品を期間限定でお届けしています。

料理専門家の指導を受けた手づくりレシピをもとに専門店の味を忠実に再現した「吟上肉まん」や「吟上海鮮ふかひれまん」などの企画商品を次々と提供することで、お客さまの嗜好に対応するとともに、新鮮なローソンを印象付けます。もちろん、「肉まん」「あんまん」「ピザまん」などの定番商品も具材、生地ともにこだわり、さらに美味しく改良しています。

吟上肉まん

豚肩ロースを従来の2倍使用したうえ、下ごしらえを丁寧に施すことで素材の持つ旨味を最大限に活かした納得の一品です。



吟上海鮮ふかひれまん

ふかひれスープをベースに貝柱、えび、いかなどを使用した魚貝の旨味と食感が特徴の贅沢な中華まんです。



お客さまの利便性を追求する業態開発

2001年に安全、安心、健康という基本理念のもとにオープンしたナチュラルローソン、病院という特殊な立地においてお客さまの利便性を実現させたホスピタルローソン。コンビニエンスストアの新しいカタチを目指して開発されたこれらの店舗も、着実に一つのビジネスモデルとして確立されつつあります。そして、日本郵政公社や金融機関などの巨大な提携先との取り組みについても、業界の先陣を切って積極的に取り組んでいます。

すべてはお客さまの利便性の向上を図るため、そして確実に収益性のあるビジネスモデルを確立するために、ローソンは飽くなきチャレンジを続けてまいります。



ホスピタルローソン 関東中央病院店

日本郵政公社との協同事業
「ポスタルローソン」

日本郵政公社との業務提携の一環として始まった郵便局内店舗「ポスタルローソン」。8月には第1号店である代々木局店に続き、横浜市青葉区の青葉台局店もオープンしました。店内は、お客さまのニーズやスペースの制約などを考慮し、通常ローソンの品揃えを基本としながら、郵便関連の封筒、便箋、筆記具、グリーティングカードなどの商品を充実させているのが特徴です。また、局内での待ち時間を有効に過ごしていただけるように、CD試聴機や電子書籍、無線LANなどの新しいサービスをご利用いただける「お便りコーナー」を設置しました。「ポスタルローソン」は、郵便局を利用するお客さまの利便性を向上させるだけでなく、周辺地域のお客さまの利用促進にも結び付くことが期待されています。



ポスタルローソン代々木局店



CD試聴機

「コンビニバンク」展開 金融機能との多彩な協同事業

金融機能とコンビニエンス機能が融合した「コンビニバンク」第1号店が登場しました。北陸銀行東京支店の1階フロアに、北陸銀行の窓口カウンターとローソン、そしてコーヒーショップが併設されました。同店では、7月1日よりローソン店頭の情報端末「Loppi」を利用した、北陸銀行の各種商品申込みや届出の取次ぎを開始しています。これにより、銀行窓口業務終了後も24時間365日、銀行の取次サービスを提供できる店舗として、お客さまの利便性向上に役立てるようになりました。また、第1号店に続き、北陸銀行との共同店舗を富山市内にも出店し、「Loppi」を使った銀行業務の取次サービスを拡充させてお客さま満足を向上させてまいります。



基本理念は「モータリストオアシス」 新業態実験店舗オープン

ドライバーの方に、とても便利な憩いの空間「モータリストオアシス」が新しく誕生しました。ローソンは、新業態実験店舗としてオートバックス・エクスプレスとの融合店「ローソン筑紫野武蔵三丁目店（福岡県）」をオープン。コンビニエンスストア、カーメンテナンス、カー用品販売、セルフ式ガソリンスタンドの4つの機能を融合した店舗です。「モータリストオアシス」を基本理念として、ご家族連れでも楽しめる軽食スペースを設置し、お子さま向けにおもちゃ売場も備えています。クルマ社会におけるローソンの新たな試みで、お客さまの日々のカーライフがいっそう充実します。



新しく地下鉄駅構内での店舗を展開

ローソンは地下鉄駅構内の出店として、国内最大の地下鉄である帝都高速度交通営団（営団地下鉄）と提携して新しいスタイルのコンビニエンスストア展開をスタートします。第1号店は11月に銀座線溜池山王駅の改札内、第2号店は12月に有楽町線新線池袋駅の構内に店舗を構えます。両店舗の利用状況などを分析して第3号店の出店も検討していきます。売場面積は通常店舗よりも狭く、生活雑貨類を減らす代わりに、おにぎりやサンドイッチ類を充実させる方針です。

「おにぎり屋」に続け！

素材、具材にとことんこだわった「おにぎり屋」のおにぎりは、お客さまから大変ご好評をいただき、わずか1年半の間にローソンの代表的なブランドに成長しました。その「おにぎり屋」を原動力に、ローソンのオリジナル商品がどんどん美味しくなります。

「カレー向上委員会」発足

カレーは、子供から大人まで幅広い年齢層から支持される言わば日本人の国民食。だからこそ、より多くのお客さまにご納得いただけるカレーを提供したい、そんな想いのもと「カレー向上委員会」が発足しました。お客さまに対するモニター調査から、「具の量を増やして欲しい」という多くのご要望が寄せられたため、肉や野菜をふんだんに使ったカレーをつくりました。また、カレーソースに様々なスパイスを織りまぜることにより、コクと深みのある、ご家庭では実現できない味に仕上げることができました。

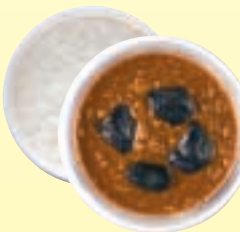


ビーフカレー

使用する牛肉の量をこれまでの2倍以上に増やし、さらに牛肉の旨味を引き出しています。また、35種類のスパイスを使用して味に深みとコクを出しました。

夏・野菜とチキンのカレー

カレーソースの半分を、ズッキーニ、ナス、赤ピーマンなどの夏野菜の具が占めています。野菜の甘さとチキンの旨味がほどよく調和されたカレーです。



挽肉とナスのカレー

牛肉100%の挽肉がカレーソースにたっぷり入りました。35種類のスパイスを加えてじっくりと煮込み、隠し味のトマトが絶妙なコクを引き出しています。

さらに美味しくなったパスタ達

女性を中心としたお客さまに人気のパスタも一新しています。美味しいパスタソースをつくるために製造工程までも変更し、従来にはない新鮮で風味のあるパスタソースの改良に成功しました。具体的には、最終工程に近い段階でトマトなどの素材を加工することにより、パスタソースの風味を最大限に維持しています。また、パスタソースと麺を分けて盛り付けることにより、麺がパスタソースの水分を吸収してしまう欠点を克服し、より新鮮な味を提供することが可能になりました。具材へのこだわりと、バラエティに富んだ幅広いメニューでお客さま満足を追求します。

フレッシュトマトソースの生パスタ

イタリア産のトマトを100%使用した甘味と旨味のあるトマトソースです。チーズの王様と言われるパルミジャーノ・レッジャーノを原料とした粉チーズ付きです。



クリーミーカルボの生パスタ

卵黄とチーズのソースと、生クリームのダブルソース仕立てで、濃厚かつクリーミーなカルボソースです。じっくりスモークさせた香りのよいベーコンを使用しました。

ミートソースのスパゲティ

デミグラスソース風味のコクのあるミートソースに仕上げました。粗挽きデュラム小麦を使用し、小麦粉の風味と弾力のある太めの麺はミートソースとの相性がバツグンです。



トピックス



ローソン全店で スポーツ振興くじ(toto)取扱開始

「地域のスポーツ振興と青少年の健全な育成」というtotoの理念と、「地域社会の発展とお客さまの便利な生活への貢献」というローソンの理念が相応することから、スポーツ振興事業の応援としてローソン店頭でのtoto取扱いに踏み切りました。ご利用いただけるのは、19歳以上のローソンプス会員で、ご利用代金が口座引落とし会員の方としています。（他にtoto特別会員、totoデビット会員の方もご利用いただけます。）

ローソンは、日本のスポーツ支援文化が根付くよう会社をあげて取り組んでまいります。



和歌山県との 地域協同事業実施に関する協定締結

地域密着型で「マチのほっとステーション」を目指すローソンは、和歌山県との地域協同事業実施に関する協定を締結しました。これは、和歌山県からの協力要請を受けて、効率的な県民サービスの向上や和歌山県の産業振興などを目的とした取り組みを実施するものです。

ローソンは、地域社会の一員として社会貢献活動を積極的に推進しており、今回の自治体との包括提携は全国初の取り組みとなります。



「ロード・セーフティステーション」への参加

ローソンは、国土交通省(中部及び中国地方整備局)からの要請を受け、東北地方整備局に続き、地域の社会貢献活動の一環として、国道に異常が発生した際に国道沿いの店舗が連絡協力を行う「ロード・セーフティステーション」へ参加しました。この取り組みは、道路情報の連絡以外にも、店舗前の歩道や植樹帯を清掃するなどの活動内容も含まれ、ローソンが1997年から実施している「一店一役運動」の主旨に合致していることから、協力することとなったものです。

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

●流動資産

流動資産は、前期末と比べ228億8千5百万円増加し、1,538億3千3百万円となりました。

これは主に、国債等の購入により有価証券が77億3千7百万円増加したことや、末日が休日のため加盟店に対しての債権勘定である加盟店貸勘定が60億9千9百万円増加したことによるものです。

●固定資産

固定資産は、前期末と比べ35億8千9百万円増加し、2,152億4千万円となりました。

これは主に、店舗システムへの投資が減少したことにより、無形固定資産が11億4百万円減少したものの、投資その他の資産のその他に含まれる店舗建設資金の貸付である長期貸付金や繰延税金資産の増加により投資その他の資産が29億6千5百万円増加したことによるものです。

科 目	当中間期 (2003年8月31日現在)	前中間期 (2002年8月31日現在)	前期 (2003年2月28日現在)
●資産の部			
●流動資産	153,833	145,139	130,948
現金及び預金	87,974	85,113	83,144
加盟店貸勘定	13,138	8,017	7,039
有価証券	20,182	28,273	12,445
たな卸資産	1,449	1,572	1,492
未収入金	18,438	16,467	15,602
繰延税金資産	2,852	1,024	2,445
その他	9,924	4,747	8,874
貸倒引当金	△124	△74	△93
●固定資産	215,240	205,914	211,651
有形固定資産	79,301	74,764	77,573
建物及び構築物	54,387	49,324	51,618
工具器具備品	19,791	18,916	19,733
土地	5,012	6,223	6,178
建設仮勘定	111	301	44
無形固定資産	16,244	15,619	17,348
投資その他の資産	119,695	115,531	116,730
投資有価証券	2,133	2,475	2,754
差入保証金	89,656	90,983	89,499
繰延税金資産	10,322	8,019	8,918
再評価に係る繰延税金資産	4,819	5,022	5,009
その他	14,319	10,287	11,978
貸倒引当金	△1,554	△1,255	△1,428
資産合計	369,073	351,053	342,599
有形固定資産の減価償却累計額	75,496	69,328	71,986

●連結子会社

(株)ローソンチケット

ローソン店舗内の「Loppi」を中心に、スポーツ及び映画などのチケット販売を行っております。

上海華聯罗森有限公司

中華人民共和国上海市において、ローソン店舗のチェーン展開を行っております。

(株)アイ・コンビニエンス

iモードの公式サイト「iLAWSON」を展開し、物販・サービス・情報の提供などを行っております。

科 目	当中間期 (2003年8月31日現在)	前中間期 (2002年8月31日現在)	前期 (2003年2月28日現在)
●負債の部			
流動負債	157,322	138,915	129,086
買掛金	76,344	77,522	63,860
加盟店借勘定	2,407	3,968	4,799
未払金	21,707	19,627	15,013
未払法人税等	11,125	1,830	7,615
預り金	39,577	29,244	33,030
賞与引当金	2,819	2,287	2,824
その他	3,343	4,437	1,945
固定負債	55,216	60,577	59,419
退職給付引当金	1,070	3,971	3,786
役員退職慰労引当金	162	179	223
預り保証金	53,625	56,071	54,989
その他	359	356	421
負債合計	212,538	199,492	188,505
●少数株主持分			
少数株主持分	2,176	2,068	2,230
●資本の部			
資本金	58,507	58,507	58,507
資本剰余金	41,520	41,520	41,520
利益剰余金	66,515	56,475	58,608
土地再評価差額金	△7,082	△6,935	△6,917
その他有価証券評価差額金	19	△219	△2
為替換算調整勘定	147	146	150
自己株式	△5,267	△1	△2
資本合計	154,359	149,493	151,864
負債、少数株主持分及び資本合計	369,073	351,053	342,599

●流動負債

流動負債は、前期末と比べ282億3千6百万円増加し、1,573億2千2百万円となりました。
これは主に、店舗の商品仕入等の増加により買掛金が124億8千4百万円増加したことや末日が銀行休業日のため支払が翌月へ繰越されたことなどにより未払金が66億9千4百万円増加したことによるものです。

●固定負債

固定負債は、前期末と比べ42億3百万円減少し、552億1千6百万円となりました。
これは主に、ダイエー厚生年金基金を任意脱退したことにより退職給付引当金が27億1千6百万円減少したことや預り保証金が13億6千4百万円減少したことによるものです。

●資本の部

株主資本は、前期末と比べ24億9千5百万円増加し、1,543億5千9百万円となりました。
これは主に、自己株式の取得52億6千5百万円や配当金を22億6千万円支払ったことにより株主資本が減少したものの、中間純利益101億8千2百万円を計上したことによるものです。
その結果、株主資本比率は前期末と比べ2.5%減少し、41.8%となりました。

●関連会社

(株)ローソン・エイティエム・ネットワークス
ローソン店舗における共同ATMの設置、管理及び運用に関する業務や、入出金・振込など共同ATM網を利用した提携金融機関の金融サービスに係る事務受託などを行っております。

(株)ローソン・シーエス・カード
ローソン顧客向けクレジットカードを発行し、「Loppi」などの各種インフラを通じて、カードサービスを提供しております。

連結損益計算書 (単位: 百万円)

科 目	当中間期 (2003年3月 1日から 2003年8月31日まで)	前中間期 (2002年3月 1日から 2002年8月31日まで)	前期 (2002年3月 1日から 2003年2月28日まで)
(チェーン全店売上高)	(651,681)	(667,265)	(1,294,042)
営業総収入	125,479	131,021	250,334
営業収入	90,590	85,853	168,848
売上高	34,889	45,168	81,486
売上原価	25,414	33,143	59,889
売上総利益	9,475	12,025	21,597
営業総利益	100,065	97,878	190,445
販売費及び一般管理費	78,992	77,203	156,338
営業利益	21,073	20,675	34,107
営業外収益	514	575	975
受取利息	143	129	261
その他	371	446	714
営業外費用	1,569	2,583	4,426
店舗解約損	711	1,155	1,925
その他	858	1,428	2,501
経常利益	20,018	18,667	30,656
特別利益	967	5,821	6,400
固定資産売却益	115	—	—
投資有価証券売却益	11	5,774	5,778
厚生年金基金脱退益	812	—	—
その他	29	47	622
特別損失	2,424	15,202	19,453
固定資産除却損	1,895	9,322	12,040
割増退職金	—	4,423	4,322
固定資産売却損	15	7	58
その他	514	1,450	3,033
税金等調整前中間(当期)純利益	18,561	9,286	17,603
法人税、住民税及び事業税	10,267	1,090	7,852
法人税等調整額	△1,816	3,804	1,339
少数株主利益	△72	△166	△449
中間(当期)純利益	10,182	4,558	8,861

●営業総収入

営業総収入は、前中間期と比べ55億4千2百万円減少(同4.2%減)し、1,254億7千9百万円となりました。これは主に、加盟店の増加によりロイヤリティ収入や、子会社の(株)ローソンチケットの営業収入が増加したものの、既存店の売上高が減少したことによるものです。

●営業利益

営業利益は、前中間期と比べ3億9千8百万円増加(同1.9%増)し、210億7千3百万円となりました。これは主に、ATM運用費や店舗賃借料が増加したことにより販売費及び一般管理費が17億8千9百万円増加したものの、営業総利益が21億8千7百万円増加したことによるものです。

●経常利益

経常利益は、前中間期と比べ13億5千1百万円増加(同7.2%増)し、200億1千8百万円となりました。これは主に、営業外収益が6千1百万円減少したものの、持分法適用会社の(株)ローソン・シーエス・カードの投資損失が5億7千4百万円減少したことによるものです。

●中間純利益

中間純利益は、前中間期と比べ56億2千4百万円増加(同123.4%増)し、101億8千2百万円となりました。これは主に、投資有価証券売却益が57億6千3百万円減少したものの、店舗閉鎖に伴う固定資産除却損が74億2千7百万円減少したことによるものです。

連結剰余金計算書 (単位: 百万円)

科 目	当中間期 (2003年3月 1日から 2003年8月31日まで)	前中間期 (2002年3月 1日から 2002年8月31日まで)	前期 (2002年3月 1日から 2003年2月28日まで)
●資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	41,520	41,520	41,520
資本剰余金中間期末(期末)残高	41,520	41,520	41,520
●利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	58,608	55,649	55,649
利益剰余金増加高	10,182	4,558	8,861
中間(当期)純利益	10,182	4,558	8,861
利益剰余金減少高	2,275	3,732	5,902
配当金	2,260	2,260	4,412
再評価差額金取崩額	15	1,472	1,490
利益剰余金中間期末(期末)残高	66,515	56,475	58,608

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科 目	当中間期 (2003年3月 1日から 2003年8月31日まで)	前中間期 (2002年3月 1日から 2002年8月31日まで)	前期 (2002年3月 1日から 2003年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益	18,561	9,286	17,603
有形固定資産減価却費	6,580	6,209	13,135
有形固定資産除却損	1,254	6,411	7,842
無形固定資産償却費	1,979	1,203	2,936
退職給付引当金の増加額(△: 減少額)	△2,716	965	780
貸倒引当金の増加額	157	316	508
受取利息及び受取配当金	△143	△129	△261
支払利息	9	52	61
有形固定資産売却損	15	7	58
投資有価証券売却益	△11	△5,774	△5,778
その他の収益・費用(純額)	957	3,498	5,972
売上債権の増加額	△6,100	△1,835	△857
たな卸資産の減少額	43	515	596
未収入金の増加額	△1,666	△3,073	△2,208
仕入債務の増加額	10,093	14,424	1,593
未払金の増加額(△: 減少額)	4,695	2,954	△1,661
預り金の増加額	6,547	1,378	5,164
預り保証金の減少額	△1,364	△584	△1,666
その他の資産及び負債の増減額(純額)	219	2,073	644
(小計)	39,109	37,896	44,461
利息及び配当金の受取額	101	122	238
利息の支払額	△9	△48	△57
法人税等の支払額	△6,757	△9,806	△10,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,444	28,164	33,860
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金等の解約による収入	—	161	646
有価証券の取得による支出	△29,244	△17,885	△25,532
有価証券の償還による収入	29,507	21,122	50,425
投資有価証券の売却による収入	0	8,300	8,300
関係会社株式の取得による支出	—	△2,300	△3,550
有形固定資産の取得による支出	△10,746	△11,300	△22,543
短期貸付金の増加額	△4,000	—	—
無形固定資産の増加額	△1,039	△4,984	△9,563
差入保証金の増加額(純額)	△157	△1,282	△1,382
その他(純額)	△2,408	△110	△588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,087	△8,278	△3,787
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	—	△3,140	△3,140
少数株主からの収入	—	—	306
自己株式買取	△5,265	△0	△1
配当金の支払額	△2,260	△2,260	△4,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,525	△5,400	△7,247
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△105	△101
現金及び現金同等物の増加額	6,830	14,381	22,725
現金及び現金同等物の期首残高	93,994	71,269	71,269
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	100,824	85,650	93,994

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間期と比べ42億8千万円増加し、324億4千4百万円となりました。

これは主に、有形固定資産除却損が51億5千7百万円減少したものの、税金等調整前中間純利益が92億7千5百万円増加したことによるものです。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間期と比べ98億9百万円支出が増加し、180億8千7百万円の支出となりました。

これは主に、店舗システムへの投資が減少したことにより、無形固定資産の支出が39億4千5百万円減少したものの、有価証券の運用が取得・償還で29億7千4百万円収入が減少したことや投資有価証券売却による収入が83億円減少したことによるものです。

その結果、営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを引いたフリーキャッシュ・フローは、有価証券の運用を除いて、前中間期と比べ25億5千5百万円減少の140億9千4百万円となりました。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前中間期と比べ21億2千5百万円支出が増加し、75億2千5百万円の支出となりました。

これは主に、借入金の返済が前中間連結会計期間にて終了したものの、自己株式買取で52億6千5百万円を支出したことによるものです。

これらの結果、当中間期末の現金及び現金同等物の中間期末残高は、前中間期末と比べ151億7千4百万円増加し、1,008億2千4百万円となりました。

単独財務諸表 (単位: 百万円)

●貸借対照表

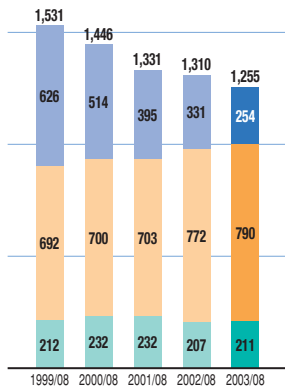
科 目	当中間期 (2003年8月31日現在)	前中期 (2003年2月28日現在)
●資産の部		
流動資産	143,838	121,475
固定資産	220,851	216,746
有形固定資産	78,893	77,134
無形固定資産	14,929	15,948
投資その他の資産	127,028	123,663
資産合計	364,689	338,221
有形固定資産の減価償却累計額	74,923	71,451
●負債の部		
流動負債	152,093	124,365
固定負債	54,844	58,995
負債合計	206,938	183,360
●資本の部		
資本金	58,506	58,506
資本剰余金	41,520	41,520
利益剰余金	70,054	61,754
土地再評価差額金	△7,082	△6,917
其他有価証券評価差額金	19	△1
自己株式	△5,267	△2
資本合計	157,750	154,860
負債・資本合計	364,689	338,221

●損益計算書

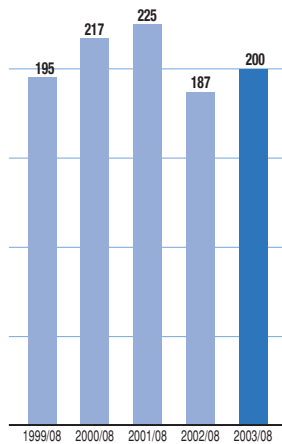
科 目	当中間期 (2003年3月1日から 2003年8月31日まで)	前中間期 (2002年3月1日から 2002年8月31日まで)
(チェーン全店売上高)	(650,083)	(665,817)
営業総収入	118,014	126,070
営業収入	84,559	81,997
売上高	33,454	44,073
売上原価	24,205	32,249
売上総利益	9,249	11,823
営業総利益	93,808	93,821
販売費及び一般管理費	72,952	73,060
営業利益	20,856	20,761
営業外収益	494	562
受取利息	123	122
その他	370	439
営業外費用	879	1,346
店舗解約損	711	1,153
その他	168	192
経常利益	20,471	19,977
特別利益	945	5,806
特別損失	2,449	15,171
税引前中間純利益	18,967	10,612
法人税、住民税及び事業税	10,089	904
法人税等調整額	△1,695	3,819
中間純利益	10,574	5,888
前期繰越利益	28,767	24,406
再評価差額金取崩額	14	1,472
中間未処分利益	39,326	28,822

主要連結經營指標

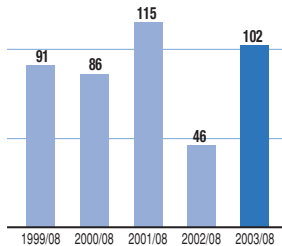
連結營業總收入 (単位: 億円)
 ■売上原価 ■販管費 ■営業利益



連結経常利益 (単位: 億円)



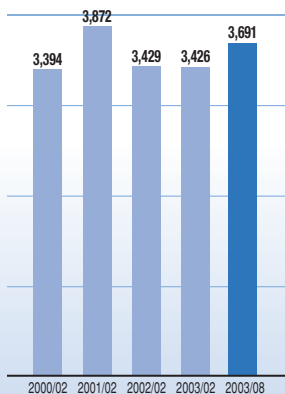
連結中間純利益 (単位: 億円)



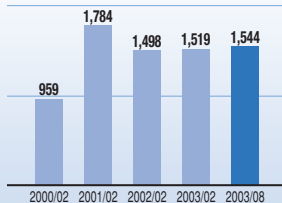
連結有利子負債額 (単位: 億円)
 ●連結有利子負債比率 (単位: %)



連結総資産 (単位: 億円)



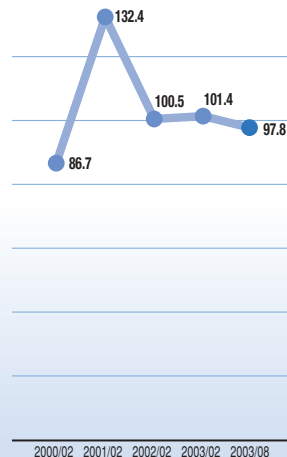
連結株主資本 (単位: 億円)



●連結株主資本比率 (単位: %)



●連結流動比率 (単位: %)



●店舗数

国内合計 **7,711** 店舗

ATM導入店舗数…**2,923**店舗

九州ローソン支社

884店舗

	店舗数	ATM導入店
福岡	271	—
佐賀	55	—
長崎	80	41
熊本	77	—
大分	101	—
宮崎	81	—
鹿児島	107	—
沖縄	112	—
計	884	41

近畿ローソン支社

1,740店舗

	店舗数	ATM導入店
滋賀	109	—
京都	169	—
大阪	799	695
兵庫	449	369
奈良	104	48
和歌山	110	—
計	1,740	1,112

東北ローソン支社

646店舗

	店舗数	ATM導入店
青森	113	102
岩手	102	—
宮城	163	—
秋田	106	—
山形	56	—
福島	106	—
計	646	102

関東ローソン支社

2,090店舗

	店舗数	ATM導入店
茨城	104	—
栃木	93	—
群馬	64	—
埼玉	279	100
千葉	253	189
東京	731	677
神奈川	456	432
新潟	110	34
計	2,090	1,432

中部ローソン支社

1,055店舗

	店舗数	ATM導入店
富山	88	—
石川	66	—
福井	70	—
山梨	63	—
長野	139	63
岐阜	77	—
静岡	161	—
愛知	323	118
三重	68	—
計	1,055	181

中四国ローソン支社

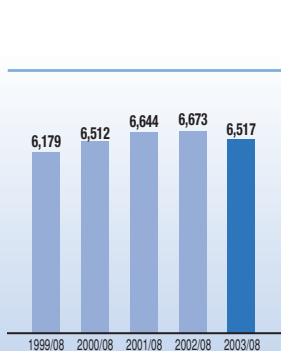
821店舗

	店舗数	ATM導入店
鳥取	59	—
島根	56	—
岡山	111	—
広島	117	—
山口	107	—
徳島	99	—
香川	99	—
愛媛	126	—
高知	47	—
計	821	—



(2003年6月30日現在)

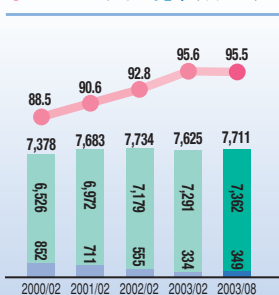
連結チェーン全店売上高 (単位: 億円)



■直営店舗数

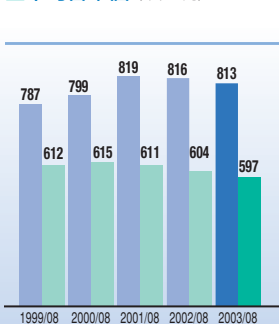
■フランチャイズ店舗数 (単位: 店)

●フランチャイズ比率 (単位: %)



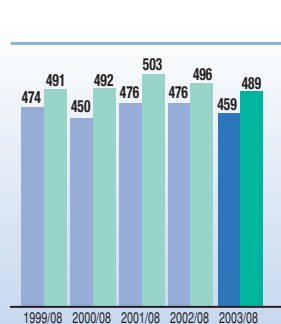
■平均客数 (単位: 人)

■平均客単価 (単位: 円)



平均日販 (単位: 千円)

■新店平均日販 / ■全店平均日販



● 会社概要 (2003年8月31日現在)

商号 株式会社ローソン
所在地 東京本社
 〒108-8563 東京都港区芝浦四丁目9番25号
 TEL. 03-5476-6800
 大阪本社
 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町9番1号
 TEL. 06-6380-4491
設立 1975年4月15日
資本金 585億664万4千円
社員数 3,242名
事業内容 コンビニエンスストア「ローソン」の
 フランチャイズチェーン展開

● 役員 (2003年9月1日現在)

代表取締役社長執行役員	新 浪 剛	副会長執行役員	和 田 耕次
取締役専務執行役員	青 木 輝夫	常務執行役員	長 谷 川 進
取締役常務執行役員	田 邊 栄一	常務執行役員	国 崎 武敏
取締役常務執行役員	山 崎 勝彦	執行役員	山 川 健次
取締役(社外)	田 坂 広志	執行役員	清 田 滋
取締役(社外)	奥 谷 禮子	執行役員	奥 田 一郎
取締役(社外)	増 田 宗昭	執行役員	落 合 勇
取締役(社外)	小 島 順彦	執行役員	篠 崎 良夫
取締役(社外)	上 野 征夫	執行役員	鈴 木 清晃
常勤監査役(社外)	児 島 政明	執行役員	野 林 定行
常勤監査役	鈴 木 貞夫	執行役員	川 村 隆利
監査役(社外)	真 田 佳幸	執行役員	浅 野 学
監査役(社外)	小 澤 徹夫	執行役員	二 井 義光
		執行役員	岡 田 稔
		執行役員	岸 本 丞介
		執行役員	河 原 成昭
		執行役員	渡 辺 忠直
		執行役員	出 口 幸之進

● 株式の状況

会社が発行する株式の総数 412,300,000株
 発行済株式の総数 107,600,000株
 株主数 51,402名

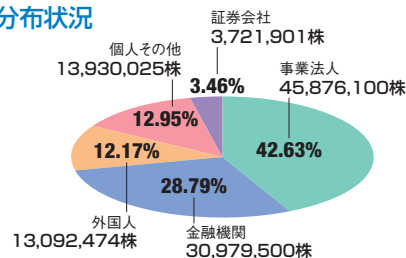
● 大株主 (上位10名)

株 主 名	所有株数(株)	議決権比率(%)
1. 株式会社エムシーリアルインベストメント	32,089,300	30.28
2. 日本トラスティサービス信託銀行株式会社信託口	10,803,800	10.19
3. 丸紅フーズインベストメント株式会社	5,939,500	5.60
4. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	4,879,600	4.60
5. 野村證券株式会社	3,539,200	3.34
6. 任天堂株式会社	3,447,000	3.25
7. UFJ信託銀行株式会社信託勘定A口	2,796,100	2.64
8. 住友信託銀行株式会社信託B口	1,512,000	1.43
9. 資産管理サービス信託銀行株式会社信託B口	1,352,400	1.28
10. ポストンセーフデポジットビーエスティーイー トリートリークライアンツオムニバ	1,256,857	1.19

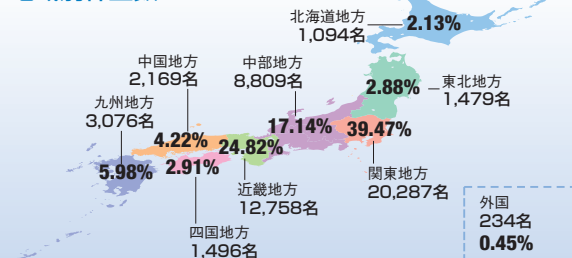
(注) 当社は自己株式1,599,825株を所有しておりますが、議決権がないため、上記の大株主から除外しております。

● 株式分布状況

所有者別分布状況



地域別株主数



株 主 メ モ

決算期	毎年2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	毎年2月末日
中間配当確定日	毎年8月31日（その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日）
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
（電話お問い合わせ） （郵便物送付先）	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696（フリーダイヤル） 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス	http://www.lawson.co.jp/kessan/index.html

※2003年5月28日より、三菱信託銀行株式会社が名義書換代理人となっております。

各種手続用紙のご請求について

住所変更、名義書換請求、単元未満株式の買取請求及び配当金振込指定等に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤルで24時間受付しております。

●フリーダイヤル 0120-86-4490

なお、証券保管振替機構をご利用の方は、お取引のある証券会社にお申し出下さい。



●ホームページでも様々な情報をご覧いただけます。
(<http://www.lawson.co.jp/>)

R100



本冊子は、環境保全のため、地・球・と・人・に・や・さ・し・い
古紙100%再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。

お問い合わせ先

株式会社 **ローソン**

〒108-8563 東京都港区芝浦四丁目9番25号

TEL 03-5476-6805 総務ステーション